

第2次袋井市総合計画 後期基本計画 策定に向けた説明資料

令和2年7月

(企画財政部 企画政策課 企画係)

後期基本計画策定スケジュール（令和2年4～12月）

（R02.07.16作成）



第2次袋井市総合計画 後期基本計画（素案）を諮問



日時：令和2年5月8日（金）
場所：袋井市役所 市長応接室

袋井市総合計画審議会
会長 野口 博 様

袋井市長 原田 英之 様

第2次袋井市総合計画 後期基本計画（素案）について（諮問）

本市では、令和7年度を目途年次とする第2次袋井市総合計画 基本構想において、「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」をまちの将来像として掲げるとともに、その実現に向けた具体的な施策展開の方向と達成すべき施策目標を定めた第2次袋井市総合計画 前期基本計画を策定し、各分野において積極的に取り組んでまいりました。

今回、第2次袋井市総合計画 前期基本計画が、令和2年度をもって計画期間の満了を迎えることに伴い、第2次袋井市総合計画 後期基本計画（計画期間：令和3～7年度）の策定に向け、袋井市総合計画審議会において御議論いただいた結果等を踏まえ方内で検討を行い、別添のとおり第2次袋井市総合計画 後期基本計画（素案）を取りまとめました。

つきましては、本計画（素案）の内容について御意見を賜りたく、袋井市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、これを諮問いたします。



5月9日（土）静岡新聞 朝刊

（懇談時の正副会長・市長コメント）

- 新型コロナウイルスの影響を見極めながら、疾病対策など危機管理の体制をはじめ、市民生活の様々な新日常を踏まえた内容を盛り込んだ内容としたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響について議論を重ね、計画に反映させていくことが必要。そのためにスケジュールも含めて全体を見直していくことが不可欠。コロナ禍後は、今までと同じ生活に戻るという考え方はなく、社会や人の暮らしにおける様々な分野での変革が求められるのではないか。
- 医療については、オンライン診療が限定的に規制緩和された。今後はその動向を注視し、医療体制の変化等について計画の中へ書き込んでいく必要があるのではないか。
- 教育については、1人1台のPC配備など教育の分野でもICT活用が大きく進んでいく。その前提の部分について、今後5年の在り方を計画の中へ記載すべき。
- 危機管理体制を含め、近隣自治体との広域連携が大事ではないか。広域の中で袋井市が果たすべき役割があり、総合計画は本来、広域連携における地域のビジョンとリンクしていくことが必要ではないか。

新型コロナウイルス感染症がもたらした影響整理①

分類	項目	発生前	発生後	波及
社会	移動	自由	制限または自粛	行動範囲は自宅周辺（地域）中心に
	医療	対面診療	限定的にオンライン診療解禁	遠隔医療の進展につながるか
	教育	対面・集合形式	オンライン形式導入加速	教育格差が生じるおそれあり
	行政	紙・はんこ主義	ペーパーレス・オンライン申請加速	
暮らし	人と人との交流	集合形式	オンラインでの対面増加	健康度の低下（うつの増加）、リアルの価値向上
	生活用品・医薬品	十分な量が供給される	不足	
	買い物	現金主流	キャッシュレス決済増加	店舗の負担増加も
	飲食	店舗	デリバリー・テイクアウト増加	プラスチックごみ増加
経済	経済体制	グローバル化傾向	反グローバル化	一定量は国内生産に回帰か
	産業全般	好調	サプライチェーン寸断や営業自粛等による低迷	CO ₂ 排出量減
	働き方	出社勤務が基本	在宅勤務が大幅増加	ワークライフバランスの意識向上、家族に対する価値観の変化
	雇用	人手不足	非正規雇用の雇い止め加速	経済格差の拡大

○社会や人の暮らしのあらゆる分野においてデジタル化が加速していくほか、次の3点について価値観や考え方が大きく変化していくのではないか。

①社会のしくみの変化

- ・集中型から分散型へ、パーソナルスペースの拡大
- ・情報格差の拡大（経済格差の拡大にもつながる）
- ・セーフティネットに対する国家（自治体）の役割拡大

②暮らし（人の価値感）の変化

- ・人と対面すること（リアル）の価値向上（エッセンシャルワーカーや個店などの価値向上）、手作りや体験などがより大切に
- ・家族観の変化、健康観の変化、

③経済（産業・雇用）の変化

- ・量よりも質へ（大量生産大量消費からの脱却）
- ・環境意識の高まり（CO₂排出抑制・リサイクルなど）
- ・サプライチェーンの再構築（国内回帰も）

○今回は、「新型コロナウイルス感染症」がもたらした社会や人の暮らしへの影響を本計画に反映させていくため、「新型コロナウイルス感染症」に特化した議論とさせていただきます。

○ついては、10年後を見据えた長期的な視点で、それぞれ専門的な見地から、主に次の3点について具体的にご意見をいただければと思います。

⇒いただいたご意見を整理した上、計画（案）に反映していきます。

- ①当該感染症の影響により、今後さらに変化が続いていく（大きく変わっていく）のはどのような分野や事柄か。
- ②大きな変化が生じた中で、我々は10年後に向け、どのような考え方や価値観を大切とすべきか。本計画に書き込むべき考え方や価値観はどのようなものがあるか。
- ③前述の考え方や価値観を実現に向け、具体的に取り組むべき政策はどのようなものがあるか。

後期基本計画の構成

分類	内容	対応
序	第1章 計画の意義と特徴	変更なし
	第2章 計画の構成と期間	変更なし（年号等を一部修正）
	第3章 時代の潮流	R2年度更新（最新の情報を踏まえて策定）
	第4章 市政に対する市民ニーズ	R2年度更新（R2年度市民意識調査を反映）
第1編 基本構想	第1章 基本構想策定の目的	変更なし
	第2章 まちの将来像	変更なし
	第3章 まちづくりの基本目標	変更なし
第2編 基本計画	第1章・第1節 将来人口	R2年度更新（袋井市人口ビジョン（R1点検）を反映）
	第1章・第2節 土地利用	R2年度更新（袋井市都市計画マスタープラン（H30改定）を反映）
	第1章・第3節 財政計画	R2年度更新（令和2年度袋井市財政見通し（R2作成）を反映）
	第2章 行政経営方針	変更なし（第2次行政改革大綱／計画期間：H28～R7年度）
	第3章・第1節 施策体系	後期基本計画（素案）のとおり
	第3章・第2節 政策・取組	後期基本計画（素案）のとおり
	（仮）分野横断で取り組むべき考え方	R2年度更新（分野横断型WGの検討を踏まえ整理）
付属資料	策定体制・経過、政策別取組別指標	R2年度更新（指標については仮設定済）

計画の中に
「新型コロナウイルス感染症」
の影響を反映